

### 3 研修医の勤務時間

研修協力施設の勤務体制に従う。

### 4 教育に関する行事

各研修協力施設が主催する研修会、講演会等に参加する。

## IV. 研修医評価（E V）

研修医は研修終了時に自己評価結果を提出する。自己評価結果を基に研修協力施設の指導医により研修状況を点検・評価する。

## [地域医療コース]

### I. 研修の目的と特徴

初期研修において地域医療を経験することで、診療所や介護施設の役割を体験的に理解し、患者・家族に対して全人的に対応することや、他施設や在宅医療との連携・調整を実践することは、時代の要請に応える医師となる上での意義が大きい。このコースでは地域の病院・診療所や長期療養施設を中心とした地域医療の研修に重点を置くことを特徴とする。

### II. 研修施設及び指導医

#### 1 研修施設

附属3病院と連携が可能な複数の病院と診療所、地域に密着した医療を展開している療養病床等を有する病院、及び介護老人福祉施設などを研修協力施設として依頼（委嘱）する。

これらの研修協力施設については、これまで医学教育・研修に実績があって研修医の受け入れの方針がある都内の診療所・病院、及び二次医療圏内の地区医師会と協議して、研修協力施設として推薦を受けて施設により対応するものとする。

神津内科クリニック

五十嵐こどもクリニック

石橋クリニック

おかの内科クリニック

小松医院

いとう内科クリニック

山口クリニック

平野診療所

萩原医院  
 医療法人昭成会田崎病院  
 要町病院  
 医療法人社団誠和会白鬚橋病院  
 社会福祉法人信愛報恩会信愛病院

## 2 指導医等リスト

地域医療コース研修の連絡調整責任者

日本大学医学部社会医学講座医療管理学部門教授

研修実施責任者及び指導医

神津内科クリニック	所長	指導医数 1 名
五十嵐こどもクリニック	所長	指導医数 1 名
石橋クリニック	所長	指導医数 2 名
おかの内科クリニック	所長	指導医数 1 名
小松医院	所長	指導医数 2 名
いとう内科クリニック	所長	指導医数 1 名
山口クリニック	所長	指導医数 1 名
平野診療所	所長	指導医数 1 名
萩原医院	所長	指導医数 1 名
医療法人昭成会田崎病院	院長	指導医数 4 名
要町病院	院長	指導医数 6 名
医療法人社団誠和会白鬚橋病院	院長	指導医数 9 名
社会福祉法人信愛報恩会信愛病院	院長	指導医数 1 名

## Ⅲ. 教育課程

### 1 研修プログラムの構成

病院・診療所または長期療養施設に 1 ヶ月

### 2 研修内容

一般目標 (G I O)

- ① 地域医療を支える医療施設の機能と役割や地域におけるプライマリ・ケアのあり方を理解する。
- ② 高齢者医療についての正しい認識をして患者・家族との良好なコミュニケーションを確立する。

行動目標 (S B O s)

- ① 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立することができる。
- ② コ・メディカルとの緊密な関係に基づくチーム医療を展開し、関係機関や諸団体の

担当者と良好なコミュニケーションを確立することができる。

- ③ QOLを考慮に入れた在宅医療・介護の医学的な管理の計画を立てることができる。
- ④ 介護保険における医師の役割を体験し、主治医意見書や介護認定審査会の役割を述べるができる。
- ⑤ 診療所の役割を理解し、患者紹介や逆紹介患者の受け入れなどの病診連携を実践するとともに、在宅医療や痴呆性高齢者のグループホームの医療的支援を実践することができる。
- ⑥ 療養病床を持つ病院や介護老人福祉施設などの長期療養施設の役割を理解し、加齢と老化に伴う栄養摂取障害や誤嚥・転倒・失禁・褥創などへの対応について経験するとともに、継続的な医療の観点から施設間連携を実践することができる。
- ⑦ 緩和ケア医療のあり方を理解するとともに、心身障害者の在宅医療や施設療養における医療面での支援を実践することができる。
- ⑧ 生活習慣病における食事・運動・禁煙などの指導とストレスマネジメントができる。
- ⑨ 地域・職域・学校検診に参画し、乳幼児や成人の予防接種を実施するなどして、地域保健活動に従事することができる。

#### 学習方略（LS）

- ① 診療所のみでの1ヶ月間の研修と、病院と診療所を組み合わせたコースをそれぞれ設定し、研修医自身の希望に基づいて研修場所となる施設を選定する。
- ② 基本的には、指導医と1対1の関係で日常診療に参画し、受け持ち患者の診療に従事する。
- ③ 指導医の同行のもとで往診や訪問診療の実際を経験する。
- ④ 研修施設が担当している地域保健予防活動に従事する。
- ⑤ 指導医が関係する他の保健・医療・福祉施設などでの医療支援や連携の実際を体験する。
- ⑥ 地域の医療関係者との会合や医療従事者としての生涯学習活動に参画する。

### 3 研修医の勤務時間

研修協力施設の勤務体制に従う。

### 4 教育に関する行事（研修協力施設と協議中）

各研修協力施設が主催する研修会、講演会等に参加する。

## IV. 研修医評価（LE）

研修医は研修終了時に、リッカードスケールによる自己評価結果を提出する。自己評価結果を基に研修

付2) 地域保健・医療必修プログラム/研修医評価表

[地域保健コース]

〈疾病予防トラック〉

地域保健	自己評価	指導者の評価
地域保健を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、保健所の役割（地域保健・健康増進を含む）について理解し、実践する。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
必修項目	経験した	指導医による確認
保健所の地域保健の現場を経験する。	済 未	済 未

予防医療

	自己評価	指導者の評価
予防医療の理念を理解し、地域での実践に参画するために、		
1) 食事・運動・禁煙指導とストレスマネジメントができる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
2) 性感染症予防、家族計画指導に参画できる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
3) 地域検診に参画できる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
4) 予防接種に参画できる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
必修項目	経験した	指導医による確認
予防医療の現場を経験する。	済 未	済 未

〈介護老人保健トラック〉

地域保健	自己評価	指導者の評価
地域保健を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、介護老人保健施設を中心とする社会福祉施設等の役割について理解し、実践する。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
必修項目	経験した	指導医による確認
介護老人保健施設の現場を経験する。	済 未	済 未

[地域医療コース]

行動目標

自己評価

指導者の評価

1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立する。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
2) 関係機関や諸団体の担当者とコミュニケーションが取れる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
3) QOLを考慮に入れた在宅医療・介護の医学的な管理の計画を立てることができる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
4) 介護保険における医師の役割を体験し、主治医意見書や介護認定審査会の役割を述べるができる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
5) 診療所の役割を理解し、患者紹介や逆紹介患者の受け入れなどの病診連携を実践する。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
6) 療養病床を持つ病院や介護老人保健施設などの長期療養施設の役割を理解し、加齢と老化に伴う栄養摂取障害や誤嚥・転倒・失禁・褥創などへの対応について経験する。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
7) 在宅や福祉施設などで療養している患者の医療面での支援を実践することができる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
8) 生活習慣病予防のための生活指導やストレスマネジメントができる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能
9) 地域保健予防活動に従事することができる。	A B C 評価不能	A B C 評価不能

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ	備考
		厚生労働科学研究「臨床研修必修化を踏まえた公衆衛生医師の確保方策の在り方に関する研究」班	卒後臨床研修「地域保健・医療」モデルプログラム事例集		東京	2005		別添

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）  
「臨床研修必修化を踏まえた公衆衛生医師の確保方策の在り方に関する研究」  
(H16-特別-043)

平成16年度 総括研究報告書（平成17年3月）

発行責任者 主任研究者 中村桂子  
発行 文京区湯島1-5-45  
東京医科歯科大学大学院  
国際保健医療協力学分野  
TEL: 03-5803-5188  
FAX: 03-3818-7176

Classic DS. 6 mm for 31-62 sheets  
www.hubert.com